

総合17位 スポーツマンシップ賞連覇

■ 概要

4日目、大会最終日を迎えました。今日は、午前中にエンデュランス(耐久走行：1周 887m のコースをドライバー2名で 11 周ずつ、計 22 周走行)の残りが行われました。また、記念撮影、デザインファイナル (デザイン審査上位 5 チームによる質疑応答)、閉会式・表彰式が行われました。



デザインファイナルの様子



集合写真

■ エンデュランス

エンデュランスの公式結果が発表されました。トータルタイムは 21 分 48 秒 825 で、パイロンを 4 本倒したためアジャスティッドタイムは 21 分 56 秒 825 です。得点は 238.97 point で、15 位になりました。また、このエンデュランス中に消費したガソリンの量により行われる燃費審査は、当チームは 2.757 リッターで 76.11 point を獲得し、14 位でした。

■ 総合順位・表彰式

総合得点は 579.61 point で、総合順位は 17 位でした。昨年の得点が 119.89 point でしたので、459.72 point のアップとなりました。ジャンプアップ賞 (昨年度から最もポイントをアップさせたチームに贈られる) を狙っていましたが、名古屋工業大学に惜しくも届きませんでした。しかし、この順位と得点は工学院レーシングチーム始まって以来の快挙です。メンバー皆の 1 年間の努力が、しっかりと実を結びました。

全動的種目完走により、日本自動車工業会会長賞 (完走奨励賞) を受賞しました。

また、昨年のスポーツマンシップ賞に恥じないチームでありたいと、ディフェンディング・スポーツマンシップをひとつの目標に掲げ、ピットだけにとどまらず会場全体の整理整頓、他大学との積極的な交流や物品の貸し出し、あいさつなどを徹底し、大会に挑みました。結果、今年度もスポーツマンシップ賞を受賞し、見事連覇を果たすことができました。



スポーツマンシップ賞受賞の様子



スポーツマンシップ賞のトロフィ